

【五城目町内川浅見内地区：浅見内活性化委員会】 ～女性が笑顔で活躍する「みせっこあさみない」～

賑わい
づくり

生活
支援

＜地区の概要＞

県中央部に位置する五城目町にあり、町中心部から車で15分ほどのところにある山間の集落で、人口約200人、高齢化率も60%を超え、県内でも人口減少と高齢化が進んでいる地域。平成22年には内川小学校が閉校となり、平成25年3月には民間バス路線が廃止となるなど、生活の利便性が低下し、地域の賑わいも失われてきている。

＜地区の取組＞

様々な地域の課題を住民自らが解決しようと立ち上がり、町内会役員や老人クラブ・婦人会役員などからなる「浅見内活性化委員会」を行政と協働で立ち上げ、高齢者の社会参加の促進と、地域住民の生活基盤の構築支援に取り組んでいる。設立当初より、年数回の買い物バス運行や日常生活支援などに取り組み、保育園跡地を活用した花壇づくり、公民館でのサロン活動など活動の幅を広げて来た。

平成28年3月には、地域住民自らが運営する交流機能を有したミニショップ「みせっこあさみない」をオープンし、小さな拠点として、地域住民にとってなくてはならない存在になっている。



【スタッフ会議の様子】



【軽食コーナーの様子】



【サロンの様子】

【今後の課題】

- ・地域の人口減少と高齢化の進行により、店舗の売上は減少傾向にある。店舗のスタッフも高齢化してきており、売上の確保とともに、スタッフの確保も課題となっている。
- ・「みせっこあさみない」は、買い物の場としてだけでなく、「ここに来れば誰かと会える！」集いの場となっており、地域の小さな拠点として維持していくために創意工夫を続けていく。

五城目町内川浅見内地区の取組の変遷

<H24>
「浅見内活性化委員会」設立

買い物バス
運行支援



ちょっとした
困りごと応援
隊を結成



保育園跡地
での花壇
づくり



H27.7
住民が運営する
店舗の視察

地区住民
アンケート

地元商店との
協定締結



寄付金の募集

H28.3
「みせっこあさ
みない」開設



R1
GBビジネス
に参加

☆取組のポイント

店舗の設置に関しては、不安も大きかった一方で、設置後は予想以上に地域からの協力も大きく、新たな交流の場として、地域の活性化に大きく寄与。

店舗設置後も定期的に会議を開催し、課題の共有を図り、その解決に向けて話し合うことで、店舗の継続に繋がっている。

活用した行政の支援制度

<「お互いさまスーパー」の設置>

- ・(県) お互いさまスーパー創設事業
 - ・(町) コミュニティビジネスチャレンジ支援事業
- <買い物バス運行支援等>
- ・(県) 社会を担う高齢者支援システム構築事業